

私の地域活動



湧水町
青少年育成コーディネーター
植林 伸洋さん

失敗してもいい、迷わず、行動することが大切!

湧水町は県の北部内陸地域に位置し、霧島連山の西、栗野岳を擁し、町の中央部を九州第二の河川、川内川が貫流しており、その流域には肥沃な耕地が拓け、水田地帯を形成しています。また、丸池湧水は「日本名水百選」にも選定されるなど、豊かで美しい自然と景観の地域です。

今回は、湧水町で青少年育成コーディネーターとして活躍されている植林伸洋さんの活動等を御紹介します。



カヌー体験教室(轟小学校)

子どもとの関わりが生きがい!

植林さんは、わが子が小学校入学と同時にPTAの育成部長となったことがきっかけで、単位子ども会の育成会長や指導者として、子どもたちと関わることになりました。以後、小学校、中学校のPTA会長を歴任しながら、青少年育成活動に携わってこられました。現在は、6年前から町子ども会育成連絡協議会会長職ともに、町青少年育成コーディネーターとして頑張っておられます。そのほか、町スポーツ推進員も務められ、カヌー体験教室やニュースポーツ体験にも指導者として精力的に関わっておられます。

引き継がれる思い～伝統芸能の継承～

湧水町は、今でも様々な伝統芸能が継承され、多くが自治会単位で引き継がれてきています。植林さんの轟校区でも、上村太鼓踊り、二渡棒踊り、稲葉崎棒踊り、田尾原田の神舞の4つの伝統芸能が引き継がれ、植林さん自身も20年ほど前から指導者として携わっておられるそうです。小学生になると、大人から伝統芸能を教わり、運動会などで校区の方々に発表する、このことが当たり前かのように行われている地域です。地域の皆様の思いが引き継がれ、強い絆を感じさせる、すばらしい地域です。



稲葉崎自治会 棒踊り



ウォークラリー大会

子どもたちに様々な体験活動をさせよう!

「情報通信機器の発達により、スマホ、ゲームなど、SNSに興味持ち過ぎの子どもが多くなっている。もっと、外に出て、太陽を浴びて遊ぼうよ。」と、子ども会活動などの様々な体験活動の大切さを唱えておられます。そして、多くの体験活動を通して、自分がかけがえのない存在であると感じて欲しい、心が痛くなったら一人で悩まないで欲しい、自分が辛い時、友達が辛い時に、どのように対処すればいいかできる人になってもらいたいと願い、自ら、KYT上級指導者資格や鹿児島県安心ネットサポーター資格を取得し、子どもや親の指導に奮闘されています。

『泣こかい、とぼかい、泣こよっかひっとべ』

「まだまだ、未熟。いろいろな人たちと話すことで、いろいろな生き方、やり方があり、それを参考にすることで、一段一段上がって来られた。多くの人との出会い、情報交換が指導者としての自分を育ててくれた。」と、謙虚に話されました。

好きな言葉は、『泣こかい、とぼかい、泣こよっかひっとべ』失敗してもいい、迷わず行動することが大切。指導者は、「手を出すな、口を出すな、見守りが大切!子どもには冒険をさせろ!」と、若い指導者に限らず、自分にも言い聞かせておられるそうです。



カローリング(上場小学校)